

RYOBI®

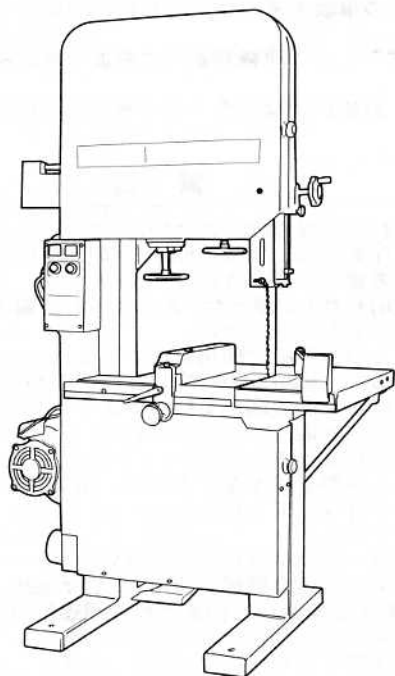
バンドソー

BS-500, BS-500R

BS-500-5, BS-500-5R

取扱説明書

ご使用前に必ずこの説明書を最後までよくお読みください。
また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。



もくじ

- ・安全上のご注意 1～4
- ・各部の名称 4
- ・仕様・通常付属品・用途 5
- ・操作方法 6～14
- ・保守と点検 14

このたびは、リョービバンドソーをお買い上げいただきありがとうございます。安全に能率よくお使いいただくために、ご使用前にこの安全に関する注意事項、及び取扱説明書を最後までよくお読みください。
使用上の注意事項、本機的能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。

注意文「△警告」、「△注意」の意味について

ご使用上の注意事項は「△警告」と「△注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

なお、「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

△警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

△注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

「△警告」・「△注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンス等に関する重要な注意事項は「(注)」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

■安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

△ 警 告

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ・ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - ・機械は、雨中で使用したり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
 - ・作業場は十分に明るくしてください。
 - ・可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
 - ・転倒事故を防止する為、機械周辺の床には物を置かないでください。
 - ・機械周辺の床は常に水や油で濡れていないようにしてください。水や油をこぼした場合は、直ちに拭き取ってください。
3. 電気工事は自分で行わないでください。
 - ・電源の誤配線による重傷事故を避ける為に、電気工事については電気工事士の免許のある方が必ず行なってください。
4. 子供を近づけないでください。
 - ・作業員以外、作業場へ近づけないでください。
5. 無理して使用せず作業に合った機械を使用してください。
 - ・安全に能率よく作業するために、指定された用途以外に使用せず、機械の能力に合った速さで作業してください。
6. きちんとした服装で作業してください。
 - ・だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具は、回転部に巻込まれる恐れがありますので着用しないでください。
 - ・手袋は刃物の交換の際に使用する以外は回転部に巻込まれる恐れがありますので絶対に使用しないでください。
 - ・屋外での作業の場合には、滑止めのついた履物の使用をお勧めします。
 - ・長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。

7. 保護めがねを使用してください。
 - ・作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
8. コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・コードを引張ってコンセントから抜かないでください。
 - ・コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
9. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
10. 機械は、注意深く手入れをしてください。
 - ・安全に能率よく作業をしていただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
 - ・注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買上げの販売店またはリョービ販売営業所に修理を依頼してください。
 - ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースがつかないようにしてください。
 - ・機械の可動部分との接触による重傷事故を避ける為に、部品交換の際には電源プラグを外し、かつ元スイッチを「切り」の状態にしてください。

(注) 元スイッチとは建物に取付けてある電源スイッチのことで、起動スイッチのことではありません。
11. 次の場合は、元スイッチを「切る」の状態にするか、プラグを電源から抜いてください。
 - ・使用しない、または保守、点検、修理をする場合。
 - ・刃物、砥石、ビット等の付属品を交換する場合。
 - ・清掃する場合。
 - ・機械の故障、異常に対処する場合。
 - ・その他危険が予想される場合。

(注) 元スイッチとは建物に取付けてある電源スイッチのことで、起動スイッチのことではありません。
12. 調節キーやレンチ等は、必ず取外してください。
 - ・電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチ等の工具類が取外してあることを確認してください。
13. 不意な始動は避けてください。
 - ・元スイッチを「入る」にする前に、機械のスイッチが切れていることを確かめてください。
14. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
 - ・機械を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況等十分注意して慎重に作業してください。
 - ・疲れている場合は、使用しないでください。
15. 損傷した部品がないか点検してください。
 - ・使用前に、保護カバーや回転軸、歯車、プーリー、ベルトなどに損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - ・可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
 - ・損傷した保護カバー、回転軸、歯車、プーリー、ベルトなどの部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買上げの販売店またはリョービ販売営業所に修理を依頼してください。スイッチが故障した場合は、お買上げの販売店またはリョービ販売営業所で修理を行ってください。スイッチで始動および停止操作の出来ない機械は使用しないでください。

⚠ 警 告

16. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
 - ・本取扱説明書およびリョービパワーツールカタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがありますので使用しないでください。
17. 機械の修理は、専門店に依頼してください。
 - ・本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
 - ・修理は、必ずお買上げの販売店またはリョービ販売営業所にお申し付けください。修理の知識や技術の無い方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県等の条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

バンドソーご使用に際して

先に電動工具としての共通の注意事項を述べましたが、バンドソーをご使用の際には、さらにつぎに述べる注意事項を守ってください。

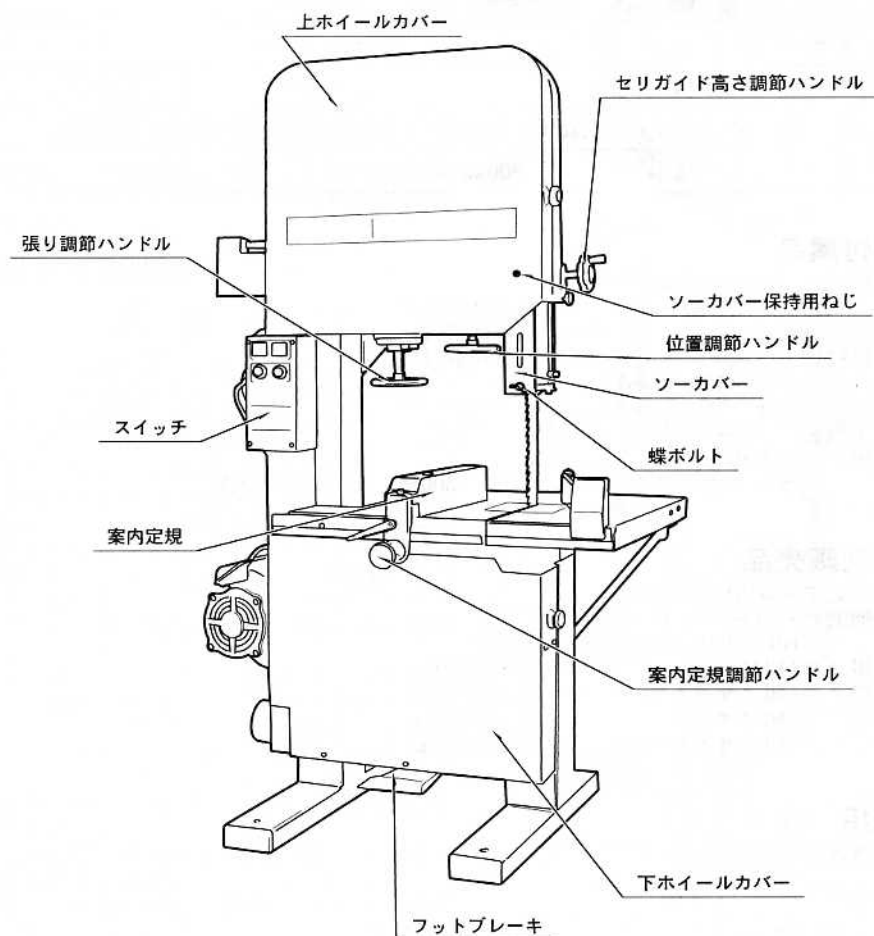
⚠ 警 告

1. 電圧は、銘板の表示と一致しているか必ず確認してください。
 - ・100V用のモーターを200Vで使用されますとモーターが焼損するのみでなく、高速回転となりけがの原因になります。逆に200V用モーターを100Vで使用しますと力不足となります。
 2. 運転中は、帯ノコおよび可動部には絶対手を触れないでください。
 - ・けがの原因になります。
 3. ソーカバーは、身体が帯ノコに触れるのを防ぐものです。必ず正しく取付けてご使用ください。
 - ・帯ノコが露出しますと、けがの原因になります。
 4. 材料に釘などの異物がないことを確認してください。
 - ・異物があれば帯ノコを破損することがあり、けがの原因になります。
 5. 使用中は、材料を確実に保持してください。
 - ・確実に保持していないと材料が落ち、けがの原因になります。
 6. 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買上げ販売店、またはリョービ販売営業所に点検・修理を依頼してください。
 - ・そのまま使用していると、けがの原因になります。
 7. 帯ノコは適正な緊張でご使用ください。
 - ・過度の緊張は帯ノコの寿命を縮めます。また、ゆる過ぎると帯ノコの飛出しの原因となります。
 8. 帯ノコ刃にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。
 - ・帯ノコ刃が破損し、けがの原因になります。
 9. 切断しようとする材料の前に手を置いたりしないでください。
 - ・手を切ったりする恐れがあります。
 10. (3相・200V電源仕様の場合)
 - ・機械設置後、ご使用前に、刃物類が正しい方向(カバー等の矢印方向)に回転しているか確認してください。逆回転していますと、ねじのゆるみや部品損傷によるけがの原因になります。
- (注) 万一逆回転する場合は、電気工事士の資格を持つ方にご相談のうえ、正しい回転方向でご使用ください。

△ 注意

1. 刃物類（帯ノコなど）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
 - ・確実にしないと、はずれたりし、けがの原因になります。
2. 使用中は、軍手など巻込まれる恐れのある手袋を着用しないでください。
 - ・回転部に巻込まれ、けがの原因になります。
3. 作業前に、帯ノコ刃を空転させ、機体の振動や帯ノコ刃の面振れなどの異常がないことを確認してください。
 - ・異常があるとけがの原因になります。
4. 能力を超えた作業は事故のもとです。帯ノコは常に良い切れ味にしておき、回転数を上げた後、加工を始めてください。
 - ・安全で能率よく、きれいな仕上面が得られます。

■各部の名称



■仕 様

モ デ ル 名	BS-500・BS-500R	BS-500-5・BS-500-5R
電 源	三相・200V	
電 流	9.3A (50Hz)・8.7A (60Hz)	15A (50Hz)・14.3A (60Hz)
出 力	2.2kw	3.7kw
ホイール回転数	730R.P.M. (50Hz)・880R.P.M. (60Hz)	
帯 ノ コ 寸 法	76mm×3,620mm	
最大切断厚さ	380mm	
ふ ところ 寸 法	480mm	
ホ イ ー ル 径	500mm	
テ ー ブ ル 寸 法	600mm×650mm	
テ ー ブ ル 傾 斜	0～45°	
機 体 寸 法	1,750mm (高さ)×1,200mm (幅)×800mm (奥行)	
重 量	300kg	315kg

■付属品

- 帯ノコ (ステライト刃)
(76×3,620mm) 1 (本体取付)
- 案内定規 1 (本体取付)
- 材料押え 1 (本体取付)
- 両口スパナ (17×19mm) 1
- 両口スパナ (10×13mm) 1
- 工具袋 1
- 組アサリ刃用
バランスウエイト 1 (BS-500R、BS-500-5R)

■別販売品

- デジタル定規
- 補助ローラーセット
(BS-500R・BS-500-5R用)
- 帯ノコ (組アサリ) 13×3,620mm
- 帯ノコ (組アサリ) 16×3,620mm
- 帯ノコ (組アサリ) 19×3,620mm
- 帯ノコ (組アサリ) 25×3,620mm

■用 途

- 各種木材の切断

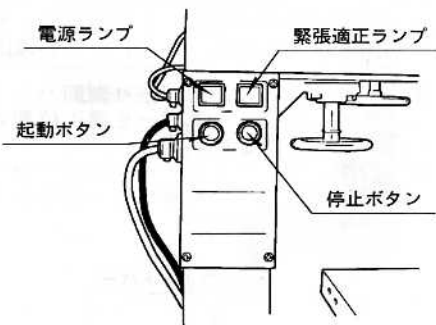
■操作方法

●スイッチ

△ 警 告

・電圧は、銘板の表示と一致しているか必ず確認してください。
100V用のモーターを200Vで使用されますと、モーターが焼損するのみでなく、高速回転となりけがの原因になります。逆に200V用のモーターを100Vで使用しますと力不足となります。

- スイッチボックスの始動ボタン、停止ボタンを押して操作します。
- 差込みプラグを電源に接続すると電源ランプが点灯します。
- 帯ノコの張りが適正な場合は緊張適正ランプが点灯し、帯ノコの張りがゆるむと緊張適正ランプが消えるシステムになっております。
- 作業中に負荷がかかりすぎるとサーマルリレーが働き、モーターが停止することがありますが、これは故障ではありません。サーマルリレーが働き、モーターが始動できない時は、40秒ほど待って始動ボタンを押してモーターを起動させてください。



●帯ノコの交換

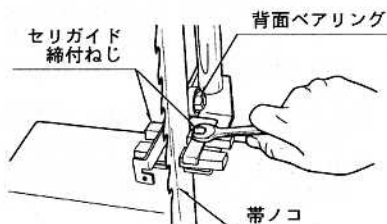
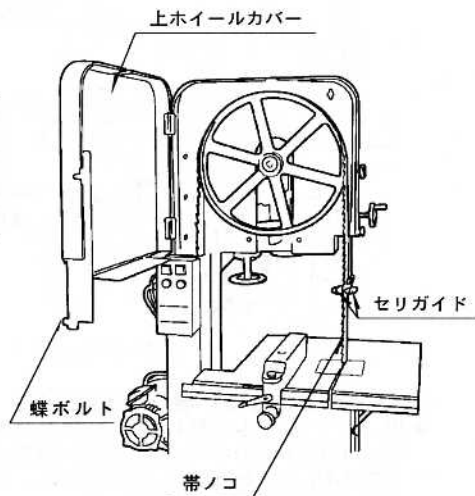
△ 警 告

・帯ノコ交換の際は、必ずスイッチを切り、プラグを電源から外しておいてください。不意な作動によるけがの原因になります。

- 上下のホイールカバーを開きます。
下ホイールカバーは、下ホイールカバー側面のノブをゆるめることによって開くことができますが、上ホイールカバーを開く時は、上ホイールカバー側面のノブをゆるめるとともに、ソーカバーとセリガイドを締付固定している蝶ボルトを外してください。

(注) 蝶ボルトを外し、上ホイールカバーを開く時は、ソーカバーを手で保持してください。上ホイールカバーとソーカバーは固定されておきませんのでソーカバーがすべり落ちます。

- 定盤上側、下側のセリガイド締付ねじをゆるめます。
- 張り調整ハンドルを回し、帯ノコをゆるめて取外します。
- 帯ノコの取付けは下側ホイールから行ないます。



● 帯ノコの張り調整

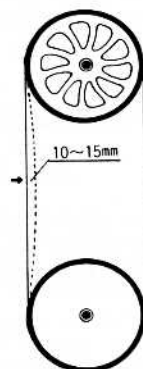
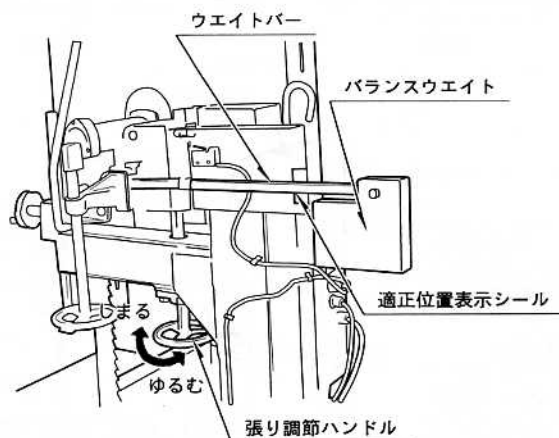
△ 警 告

- ・帯ノコ調整の際は、必ずスイッチを切り、プラグを電源から外しておいてください。不意な作動による、けがの原因になります。
- ・帯ノコは適正な緊張でご使用ください。過度の緊張は帯ノコの寿命を縮めます。また、ゆる過ぎると帯ノコの飛出しの原因となります。

△ 注 意

- ・刃物類（帯ノコなど）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。確実にしないと外れたりし、けがの原因になります。

- 帯ノコの張り調節は、張り調節ハンドルを回してウエイトバーを適正位置に合わせてください。
- この時、リミットスイッチのローラーがウエイトバーから離れていることを確認してください。
- ホイールを手で回して帯ノコの張りを調べてください。
- 帯ノコの最適な張り具合は、帯ノコを指で軽く押した時、10～15ミリの伸びがある程度に調節してください。



(帯ノコが安定しない場合の調整方法)

- 帯ノコ一本一本の特性が、わずかに異なっておりますので正常な張り調節をしても帯ノコが安定しない場合は、次の点を確認してください。

- ① バランスウエイトの位置を確認してください。バランスウエイトはウエイトバーの先端にくるように調節してください。
- ② 上下のホイール面に木くず等が付着している場合は取除いてください。
- ③ セリガイドの調節は適正か確認してください。(セリガイド調節の項参照)

- ④ 張り調節ハンドルを操作して少し強目に張り調節を行なってください。

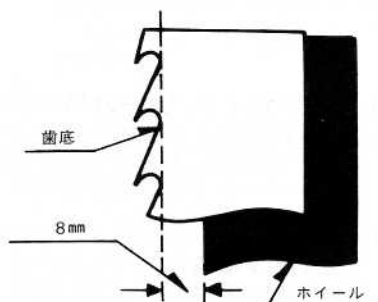
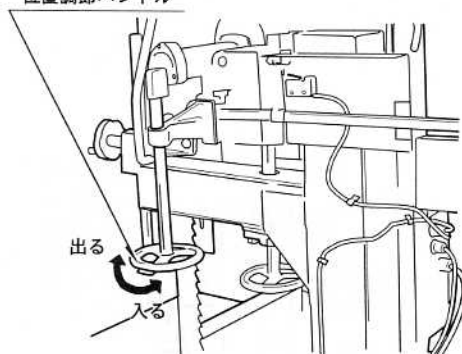
(注) ラベルの適正位置に矢印が一致していても帯ノコが安定しない場合は、調節する必要があります。ラベルの適正位置は帯ノコ張り具合の一応の目安と考えてください。

●帯ノコの位置調節

- 帯ノコの張り調節が終了したら、次にホイールを手で軽く回しながら位置調節ハンドルを回します。
- ホイールと歯底が約8ミリ程度の隙間になるように調節してください。

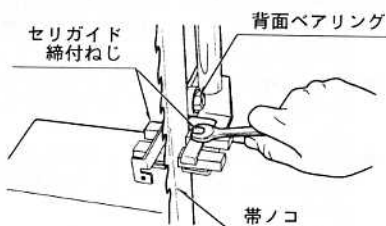
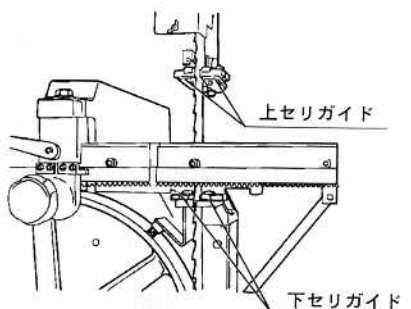
- 調節が終了したらウエイトバーがふんわり振れるかどうか確認してください。
- 調節後再び数回ホイールを手で回し、ノコ刃の位置が変わる事がないかどうか確認してください。

位置調節ハンドル



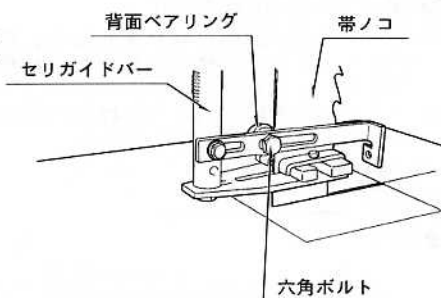
●セリガイドの調節

- セリガイドの調節の良否が挽材の切断能率を左右しますので、必ず作業前に調節してください。
- まず、向って左側セリガイドから行ないます。帯ノコとセリガイドのすき間は、ハガキ1枚の厚さ程度に調節し、六角ボルトを締付けて固定します。
- 次に、右側セリガイドも同様に固定します。定盤下側のセリガイドも上側と同様に調節します。



●帯ノコ背面ベアリングの調節

- 帯ノコ背面ベアリングと帯ノコとの間は、
やく3～4ミリ程度に調節して六角ボルト
で固定してください。

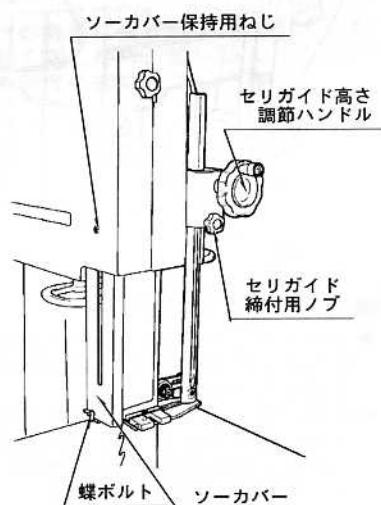


●上セリガイド、ソーカバーについて

- 薄い材料を加工する場合、帯ノコの切断部が多く露出しますので上セリガイド、ソーカバーを下げて安全作業をしてください。
- ソーカバーはセリガイドの昇降に合わせて上下する構造になっておりますので、ソーカバーをセリガイドに固定している蝶ボルトはしっかりと締付けておいてください。

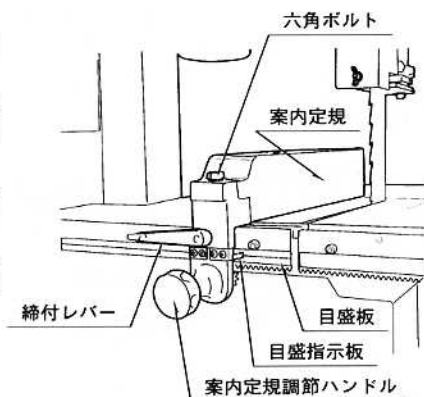
(注) 上ホイールカバーにソーカバーを取付けておりますソーカバー保持用ネジは出荷時に調整しておりますので、ゆるめたり、外したり又絞込んだりしないでください。

- セリガイド締付用ノブをゆるめ、セリガイド高さ調節ノブを回して材料の高さに応じた高さにセリガイドを調節します。セリガイドの調節後、必ずセリガイドバー締付用ノブを締めてください。



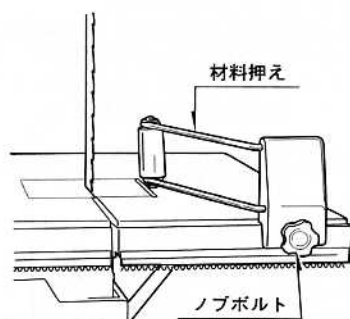
●案内定規の調節

- 案内定規調節ハンドルを回すことにより、墨打線加工が正確に、しかも敏速にセットできます。
- 案内定規調節ハンドルを手前に引き、持ち上げれば、どの位置でも取外しができます。
- 目盛指示板を加工する寸法に合わせた後、締付けレバーを締付けて固定してください。
- 案内定規の平行度は、六角ボルトをゆるめ調節し、終わりましたら締付けてください。



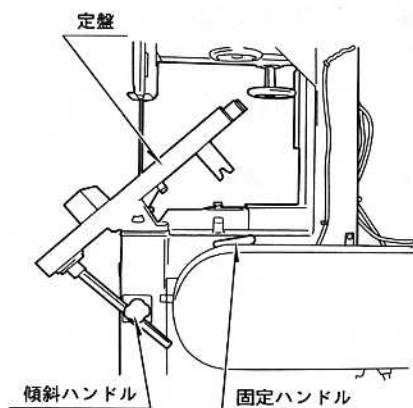
●材料押えの調節

- ノブボルトをゆるめて、使い易い位置にセットしてください。
- 使用されない時は取外してください。



●傾斜角度（0°～45°）

- 傾斜切断をする時は、傾斜ハンドル、固定ハンドルを左回転に回してゆるめ、定盤の傾斜角度を調節します。
- 加工の場合は、案内定規を帯ノコの外側にセットして加工を行ないます。

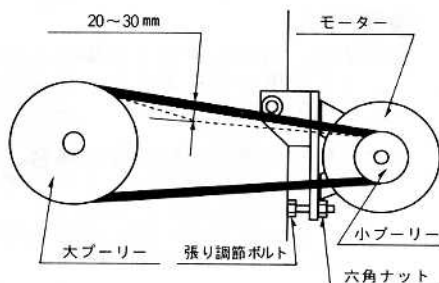


●ベルトの張り調節

⚠ 警告

・ベルトの張り調整を行なう際は、スイッチを切りプラグを電源から外してください。不意な作動による、けがの原因になります。

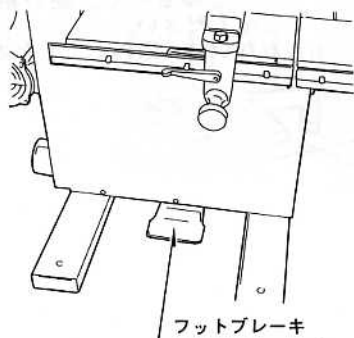
- まずナットをゆるめ、ベルトの中央を軽く指で押して20～30mmのたわみを持つ程度に張り調節ボルトで調節してください。調節後はナットを強く締付けてください。



●フットブレーキ

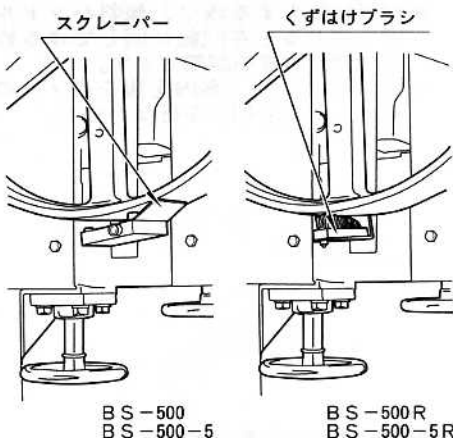
- ご使用後回転を停止する時は、フットブレーキを軽く踏んで回転を止めてください。フットブレーキを踏むことによりスイッチは自動的に切れます。

(注) 緊急の場合を除き、急ブレーキは絶対に避けてください。



●くず取り装置

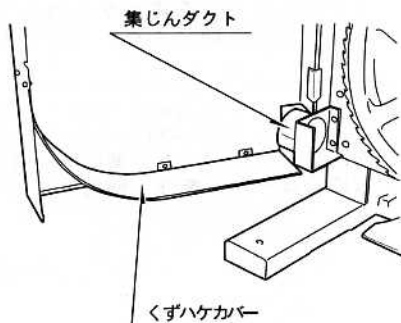
- ホイールの表面にオガくずが附着しないようにスクレーパー (BS-500R, BS-500-5Rはブラシ) を設けておりますが、時々帯ノコを外してホイール表面のオガくずを取り払ってください。
- ホイールの表面と帯ノコの間にオガくずが入りますと、帯ノコに無理な力がかかり亀裂を生じることがあります。



●集じん

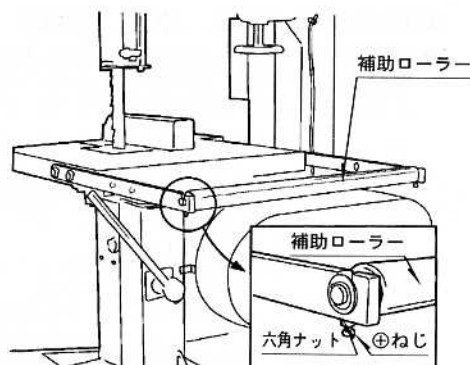
- 作業時、集じんダクトに集じん機を接続してご使用になりますと、ほこりの少ない作業ができます。

(注) 集じん機を接続しない場合、くずハケカバーを外し、ノコくずを下に出すようにしてください。くずハケカバーは、ビスを外すことにより簡単に取外せます。



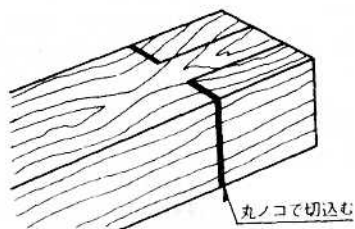
●補助ローラー(別販売)の高さ調節

- 定盤面と補助ローラーの高さが平行になるようセットしてください。
- 補助ローラーの高さ調節は、ねじをドライバーで回し調節ください。高さ調節ができましたら、六角ナットを締付け左右均等な高さに調節し固定してください。



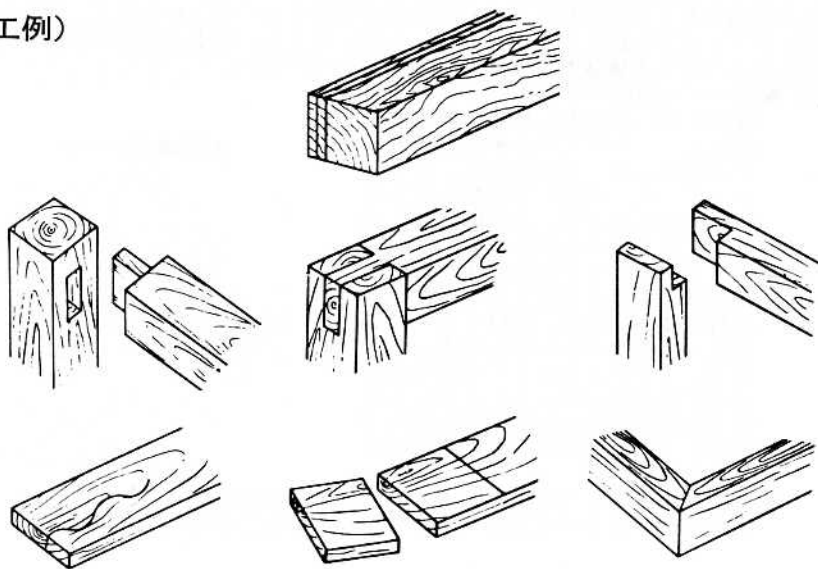
●加工方法

- ホゾを作る時は木材の両側面を電気丸ノコ等で先に切込んでおきますと切削中木材による締りが無く楽に加工出来ます。



- 曲線加工は別販売の25mm(幅)以下の帯ノコを取付け、上下のセリガイドは左右各1ヶで帯ノコをはさみ、加工材をお望みの曲線に動かして加工します。
 - 縦挽加工では、案内定規と材料押え装置を使用すれば楽に加工が出来ます。
- (注) 長尺物の切断、重い木材のホゾ取りには補助ローラーをご使用ください。
 (注) 材料を急激にあてないよう、また切りはじめましたら前方へゆっくり押して加工してください。

(加工例)



●挽曲りの種類、原因、処理

- ガイド調節が正しくてもノコ身による場合、挽材の性質等による場合等が考えられます。能率的に作業するには

その原因を確かめ適切な処置をすることが大切です。

状 態	原 因	処 置
鼻 曲 り	ホイール面にオガくずの附着が過大。 帯ノコの出が過大。 切込み操作不良。	オガくずをとり払う。 ホイール調節ノブにより直す。 切り始めはゆっくり。
元 曲 り	腰入れ、背盛量の不足。 ノコ厚に対してアサリが小さい場合。	帯ノコの仕上げ。 目立て直しをする。
小 曲 り	帯ノコの切れ味低下。オガ屑のはけ悪い。	目立て直しをする。
大 曲 り	送材速度が早い場合。 セリを下げずに挽いた場合。	挽材に合った速度（堅いものはゆっくり）セリガイド部分を下げる。
弧状曲り	曲り材及びアテ材を挽いた場合。 アサリが片よっている場合（組アサリ）。	帯ノコと定規を平行にする。 と石にて直す。
歩 む ら	挽材速度が一定でない。 挽材の保持がしっかりしていない挽曲りをおこした時。	挽材速度は出来るだけ一定にする。 補助ローラー等を定盤の高さに設けて作業を楽にする。

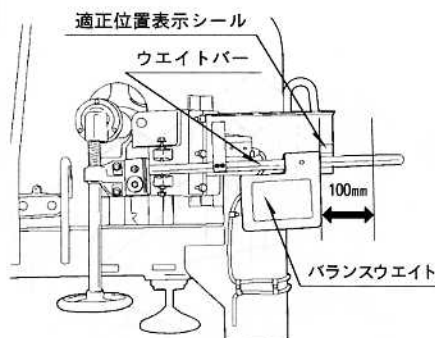
●13～25mm帯ノコ（別販売）の取付け（BS-500R, BS-500-5R）

- 通常のバランスウエイトを外し、組アサリ刃用バランスウエイト（付属品）を取付けます。
- 上ホイールの中央部に帯ノコが位置するように、上ホイールを後方に少し傾けます。（帯ノコが前に出ない程度にしてください。）
- セリガイドが帯ノコ刃部に当たらないよう調節ください。
- 次に背面ベアリングを帯ノコの後方に当てるようにしてください。
- 上ホイールを手で廻して帯ノコが前に出ないことと、背面ベアリングがなめらかに回転することを確認してスイッチを入れてください。

(注) ●組アサリ刃用バランスウエイト（曲線加工用）を使用した時に、加工条件によりバランスウエイトの能力以上の負荷が帯ノコにかかり、リミットスイッチが作動して作業ができない場合があります。この場合は、調整方法を下記のようにしてください。

●バランスウエイトを組アサリ刃用から通常のものに交換してください。材料の硬さ、厚さ、送材スピード等によって負荷のかかり方が違ってきます。バランスウエイトの取付位置は適正位置表示シールとそこから外側へ約100mm寄った位置の範囲内で調整して、無理のない作業を心掛けてください。

- 曲線切断は帯ノコを張りすぎるとスムーズな切断ができません。出来るだけ組アサリ刃用バランスウエイトをご使用ください。



●デジタル定規（別販売品）

- 材料切断幅が自動的にデジタル表示され、簡単に切断寸法決めが行なえるデジタル定規を用意しております。

■保守と点検

⚠ 警 告

- ・保守、点検、部品交換等のお手入れの前にスイッチを切りプラグを必ず電源から抜いてください。けがや感電の原因になります。

●各部取付けネジの点検

- ネジなどのゆるみがないか確認してください。もし、ゆるみがある場合は締直してください。

●使用後の手入れ

- 注油は定期的に行なってください。（週1回程度）
- 油污れなどをふき取り使いやすい状態にしておいてください。乾いた布か石けん水をつけた布で本体を拭いてください。
- ガソリン、シンナー、石油類での清掃は本体をいためます。また、水洗いは絶対にしないでください。
- 作業が終了したら、帯ノコをゆるめて必ず軽油か灯油を塗って、サビないように注意してください。サビたり、割れの入った帯ノコは使用しないでください。

●作業後の保管

- 高温にならない乾燥した場所に保管してください。お子様の手の届く範囲や落下の恐れのあるところはさけてください。

●修理について

- 本機は厳密な管理の元で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、お買上げの販売店にご用命ください。
その他、部品ご入用の場合、あるいは取扱い上ご不明な点、ご質問などご遠慮なくお問い合わせください。

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明な点があった場合には、ご遠慮なくお買上げの販売店、またはリョービ販売営業所にお問い合わせください。

※改良のためお断りなく仕様、外観等を変更することがあります。

RYOBI

発売元

リョービ販売株式会社

製造元

リョービ株式会社